

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第1回 所沢市環境審議会
開 催 日 時	令和元年5月27日(月) 午後2時30分から 午後4時30分まで
開 催 場 所	市庁舎 5階 502会議室
出 席 者 の 氏 名	天野正博、甲野毅、秋元智子、毛利吉成、川原博満、田中淑子、 上田マリノ、坂根裕子、縣美智子、岩崎新太郎
欠 席 者 の 氏 名	内田勉
説明者の職・氏名	
議 題	1 開会 2 環境審議会委員の委嘱 3 市長あいさつ 4 環境審議会会長・副会長の選出 5 諮問 6 各委員の自己紹介 7 会議の運営に関して 8 議事 (1) 諮問内容について (2) 本市の環境の現状について (3) 「所沢市マチごとエコタウン推進計画」について (4) その他 9 閉会

<p>会 議 資 料</p>	<p>・ 次第</p> <p>【配布資料】</p> <p>諮問書（写し）</p> <p>資料 1 令和元年度 所沢市環境審議会委員名簿</p> <p>資料 2 所沢市環境審議会 諮問について</p> <p>資料 3 - 1 本市の環境の現状</p> <p>資料 3 - 2 環境基本計画指標項目一覧</p> <p>資料 4 所沢市マチごとエコタウン推進計画（第 3 期所沢市環境基本計画）</p> <p>資料 5 主な現年度関連事業一覧</p> <p>【参考資料】</p> <p>参考 1 エネルギー施策のご紹介</p> <p>参考 2 国際都市間協カプロジェクト</p> <p>参考 3 所沢市の市勢に関して</p> <p>参考 4 プラスチックゴミ削減</p> <p>参考 5 RE100 パンフレット</p> <p>参考 6 ところざわ通信（4/5 号）</p>
<p>担 当 部 課 名</p>	<p>環境クリーン部 部 長 廣川 澄芳</p> <p>次 長 一井 里映</p> <p>次 長 栗原 祐治</p> <p>環境政策課 課 長 安藤 善雄</p> <p>主 幹 吉田 美由紀</p> <p>主 査 並木 美佐子</p> <p>主 査 三浦 直子</p> <p>主 任 金森 敏也</p> <p>環境対策課 課 長 矢野 正和</p> <p>主 査 川島 一禎</p> <p>みどり自然課 課 長 奥村 稔</p> <p>主 任 荻野 敏行</p> <p>資源循環推進課 課 長 池田 淳</p> <p>副主幹 村中 慎児</p> <p>生活環境課 課 長 岸 徳夫</p> <p>環境クリーン部環境政策課 電話 04-2998-9133</p>

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
吉田主幹	開会・あいさつ
市長	委嘱状の交付
市長	あいさつ
市長	正副会長の選出  会長：天野委員 副会長：毛利委員
市長	諮問
各委員	自己紹介
事務局	出席者が全委員の過半数に足しているため、審議会規定により会議の成立を確認  会議の運営に関して ①「会議の公開・非公開」 ②「会議録の作成方法」 ③「会議録の確定方法」 以上の3点について事務局より説明。  特に意見・質問が無い場合、事務局の説明通り会議運営を行う。 《決定事項》 ①会議については、規定に則り、「議題」については原則公開で開催することとした。 ②会議録の作成について、委員の発言、質疑応答は要約筆記とし、発言者については、単に「委員」と記載することとした。 ③会議録については、各委員が確認の上、会長が承認し確定することとした。

事務局	傍聴者なし を報告
事務局	議題（１）諮問内容について 資料２に基づき、担当課より説明
会長	我々が求められているのは所沢市の施策について、市の方で強化されている重点実行計画において、各主体的な市民参加のできる取り組みに対して議論していければとも思います。結果として環境施策に繋げたいと思っているところです。今の事務局の説明の中で不明な点があれば質問、コメントをお願いしたい。
事務局	議題（２）本市の環境の現状について 資料３－１に基づき、担当課より説明
会長	今の発表に対して質問等はあるか。
委員	水環境の保全の中で水生生物の調査を行うということだったが、どんな形で、何を指標で行ったのか。
川島主査	瞬間の河川状況を知る調査を定期的に行っているのだが、今年度から新規事業として市内河川に生息する魚や虫、川底のものを調べ、長期的な視点での河川状況を知る調査を実施する。
委員	所沢市の実績（二酸化炭素排出量）において頑張っているが、×が続いている。部門別で考えると部門別の中で、どの分野がいちばん成績が悪かったのか、どの対策が×に寄与しているかがわからない為、今後の議論のためにも教えてほしい。
三浦主査	市としては民生家庭部門で削減していきたい。運輸部門等はエコカー等は関与できるが、それ以外では市単体で改善するのは難しい。どれが悪いとはないが、民生家庭部門で減らしていきたいと考えている。
委員	つまり部門別の目標は特に定めていないのか。

三浦主査	目安はあるが、目標としてはない。
委員	優先度の確認がしたかった為、質問した。
委員	市域の排出量の運輸部門で、自家用車の占める割合はどれくらいか。
三浦主査	詳しいデータが手元にない為、調べて後日連絡する。
会長	新しい委員の方もいるので、なかなか達成できない要因に関して説明してほしい。
三浦主査	家庭におけるエネルギー使用（電気の使用量）が減少傾向にはあるものの絶対数が多い為、思うように数値が下がっていないのが家庭部門での課題である。運輸部門では統計値のため、エコカーを増やしても車の量が減らない限り削減が難しい。産業部門は自助努力として減っては来ているが頭打ちの状況。何か手を加えないとこれ以上減少できない状況になっていると推察できる。
会長	排出係数の問題も含めてご説明願いたい。
三浦主査	原子力発電所はCO <sub>2</sub> の排出量が少ない為、東日本大震災以前は同じ電気量を使用しても排出量は少なかった。大震災後は火力発電等が多い為、CO <sub>2</sub> 排出量が多かった。頑張っても省エネをしても電気の排出係数が下がらない為、思うように数値が下がっていない現状がある。
安藤課長	補足として、市域の電気使用量は非常に大きく、排出係数が重要なファクターとなっている。所沢市として、再生可能エネルギーの割合が多い環境性能の高い電力を市域に広げるため、ところざわ未来電力という地域新電力会社を設立した。環境性能の高い排出係数の低い電力の使用が広がると数値の減少につながるものと考えている。

事務局	議題（３）「所沢市マチごとエコタウン推進計画」について 資料４、資料５に基づき、担当課より説明
会長	資料５に関して質問なのですが、こちらは３つの重点的な項目との関係だけではなく、それ以外も入れた指標と考えると良いのか。ヒートアイランド対策に直接かかわる施策が入ってないが、それに関して説明をしてほしい。
安藤課長	資料５は事業がどんな関連プロジェクトに位置付けられているかまとめている。例えばスマートハウス化推進補助金は、再エネ推進やヒートアイランド対策など、いろいろな分野に関連している。
会長	おそらく我々が意見を求められる中心となる部分だが、他に何か質問はあるか。
委員	エコファミリー認定事業に関して、こちらに記載されているCO <sub>2</sub> 排出量はどのように推定されているのか。
安藤課長	各自が選んだエコアクションに対して、CO <sub>2</sub> 削減量が設定されている。その積み重ねの実績を推定値として記載している。
委員	あくまでも推定値ということで、県の事業であるエコライフDAYに近いものか。推定値で算出した数値は実際の削減との相関関係は不明と捉えて問題ないか。
安藤課長	同様の取り組みである。効果を確認する上では市域全体の推計値しか測ることができない為、相関関係はわかりかねる。
委員	あくまでも市民への啓発という側面が大きいとの理解で宜しいか。
安藤課長	この事業はまさに啓発事業である。市民や小中学生の行動変容に寄与できればと考えている。
委員	一歩進んでナッジのような手法も取り入れて、本当に減少させることができる施策を考えていかなければ実績として減らしていく

	<p>ことはできないと思うので、そういった部分を議論していきたいと思う。</p>
副会長	<p>エコアクションの宣言はどこに誰が行うものなのか。</p>
安藤課長	<p>ホームページ上で広く実施を促しており、ホームページでチェック・登録してもらっている。その中で実施の証跡として写真等も添付して頂きながら確認を行っている。</p>
副会長	<p>市民の参加としては非常に有効な手段だと思う。車ではなく自転車を使用するなど、ちょっとした行動変化は重要だと思う。もう少し市民参加するような周知方法があればと思う。</p>
安藤課長	<p>行動変容が効果的に水平展開し実績につながっていくように、周知方法に関しても今後改善していければと思う。</p>
委員	<p>行動変容は勿論大切ではあるが、継続を促すという点も非常に重要である。継続をどのように促していくかという観点でも、審議会内で議論したい。</p>
安藤課長	<p>継続に関しては市としても重要な切り口なので、どう仕組化するかという点で御議論頂きたい。</p>
副会長	<p>街中の緑化という事業はすばらしいと思う。具体的にどういった地域で考えているのか。</p>
奥村課長	<p>去年度から始めた事業であり、指定としては上安松・北秋津区画整理計画地の隣接地と青葉台の住宅地の中にある樹林地の2か所の指定をした。現在測量に入っているのが向陽町にある。</p>
副会長	<p>予算の面もあると思うが、街の中での自然の確保を今後も続けて頂きたい。</p>
奥村課長	<p>無償貸借で10年契約としている。土地代はかかっていないが、管理は市で行っている。今のところは公有地化の予定はない。</p>

副会長	<p>地域の方との協働にも繋がることもあると思うので続けてほしい。</p>
委員	<p>キャンドルナイトの中で、ブースにてエコファミリー等、他施策の宣伝を行っていたが、なぜステージ上で大々的に宣伝しないのか。非常にもったいない。アーティストに協力して頂いて説明してもらえればファンの方にも響くのではないか。また、今後の行事に関しても大々的にご案内すべき。来て下さった方に対して、チェーンで繋ぐイメージで連鎖を生み出していく工夫をしてほしい。是非、継続という次の施策に繋げるようにしてほしい。</p>
安藤課長	<p>チェーンのように取り組みを繋ぐという視点は大切なので、今後のイベント等の際も考慮していきたいと考えている。</p>
委員	<p>市が率先するのではなく、協働という観点でいえば、市民を上手く活用・活発化させる仕組みが必要なのではないか。市がするのではなく、市民参加で実施できる仕組みを作るべきではないか。市民を動かすことができれば、市としても業務軽減につながり、相乗効果として有機的な繋がりも生まれていくのではないだろうか。その工夫を是非お願いしたい。</p>
安藤課長	<p>まさに協働・学習の視点は本計画でも横断的な柱としている。地域の人材育成の観点からも核となる市民が中心に動くことは大変良いことである。是非、そのような視点でも御議論いただきたい。</p>
委員	<p>計画の目標は確定という認識でよろしいか。よく議論になるのだが、環境学習の指標を単純に参加者の数だけでみてよいものなのか。行動変容を促すという観点で考える上では、来た人数の中でのリピーターの数や来た人が次回以降いかに友人を連れてきているか、そういった視点を含めることで、環境への意識の高さを図ることができるのではないか。</p>
安藤課長	<p>そういった視点も今後、参考にしたい。</p>
委員	<p>目標設定が 10 年単位だが、中間年での目標は設定されているのか。</p>



安藤課長	<p>年度毎に目標を設定して、それに対する振り返りを毎年行うことで改善につなげていくこととしている。</p>
委員	<p>埼玉県で行っているエコライフ DAY でも実施しているのですが、小学生にアンケートを渡す際に30日分のチェックシートを配布し、エコアクションとして5つくらい設定し、本人に計算させている。小学生は素直なので、家族も巻き込んで実施してくれる。また別の効果として、高校生に実施した際には、勉強が苦手な子にとって自信につながるケースがあった。頑張った結果、何かご褒美のようなものがあれば、副産物な効果も見込めるのではないかと。</p>
安藤課長	<p>エコファミリーの中で上位の子に対して金賞、銀賞、銅賞、として景品を渡すようになっている。チェックシートでも家族も巻き込めるような形になっており、子どもから大人へもつながるような工夫をしている。</p>
会長	<p>市民公募の方からはなにかありますか。</p>
委員	<p>初めて参加して、市の方で色々な取組をしているということを知ることができた。</p>
委員	<p>私も知らないことが多く、参加することで初めて知ることが多かった。市の取組として具体的に何をやっているのか、教えてほしい。</p>
安藤課長	<p>様々な取組を行っており、その結果については所沢市の環境にまとめ、市民の方に周知している。結果についてはできる限り市民の方にフィードバックを行い、次に繋げたいと考えている。取り組みに関してはあまりにも量が多いので、冊子でご確認頂きたい。</p>
会長	<p>今日の説明を受けて、低炭素化をいかに進めていくかということと、どう市民参加を促していくか、いかに行動変容を起こして継続を促していくかを意識して議論していければと思う。市が主体的ではなく、市民参加、市民を主体的な施策を考えていかないと排出係数は変わっていかないと思うので、市民をどう動かしていくかが市の役割だと思う。そのために子どもから家族という流れ、イベント</p>

<p>事務局</p> <p>吉田主幹</p>	<p>からイベントを繋げる工夫、繋げる意識をもって努力して頂きたい。</p> <p>(4) その他 次回スケジュールの確認</p> <p>(まとめ)</p> <p>閉会</p>
------------------------	--